

編集後記

この第9巻は、山上精次先生、村松励先生のお二人のご退職記念号として発行させていただきました。両先生から後進の者へのお言葉を頂戴することが叶いましたこと、両先生に心よりお礼を申し上げます。山上先生におかれましては40年、村松先生におかれましては19年にわたる専修大学と心理学教育へのご尽力いただきました。在職する者一同、両先生に敬意を表しますとともに、専修大学心理学研究室の伝統の継承とさらなる発展のためにたゆまず努めて参る所存であることをあらためて申し上げ、重ねて感謝申し上げます。読者諸兄におかれましては、お二人のお言葉、人間科学部長、心理学科長の献呈の辞をご覧いただき、両先生の人となりを感じていただくと同時に、今後の心理学科の姿にもお気を留めていただきたく存じます。

今巻は、4篇の充実した論文を掲載することができました。ご執筆いただいた先生方、卒業生の方々には心よりお礼を申し上げます。今後も専修大学心理学研究室の研究・教育の充実のためにご尽力ご助力をいただきたいと存じます。

心理学科及び大学院心理学専攻といたしましては、今年度から国家資格公認心理師の養成に対応したカリキュラムを開始いたしました。年度当初にお二人の新しい先生方をお迎えし、年度末にはお二人の先生方が退職されることになりました。激動の様相を呈しております専修大学心理学研究室ですが、研究・教育・専門職の養成におきまして本研究室が運んで参ります歩みを、今後の人間科学論集心理学篇でご覧いただけますよう努めて参ります。

最後に、編集と刊行にご助力を賜りました専修大学出版局の相川美紀様に心より感謝申し上げます。

(心理学科編集委員主幹 中沢 仁)